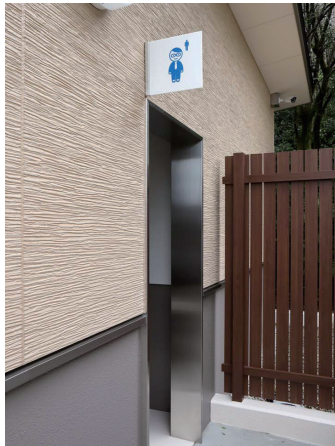


史跡小牧山 桜の馬場 屋外トイレ



外観

愛知県小牧市にある「小牧山」は、小牧・長久手の戦いの舞台になるなど歴史色が濃い。屋外トイレの外観は、緑豊かな環境になじむ、落ち着いた色調と意匠。外部には、手洗いと飲水用の水栓が設置されている。



トイレ入口

トイレのサインは、小牧市内の公共トイレで共通して使われている、親しみのあるデザイン。入口には格子の目隠しがあり、外からの視線を気にせずに安心して利用することができる。



男性トイレ
洗面・小便器コーナー



洗面カウンターは、清掃のしやすいボウル一体タイプを採用。小便器は「きれい除菌水」搭載の超節水タイプを設置した。また、自然光を取り入れる窓があり、明るい、清潔感ある空間となっている。

図面

大便器をすべて洋式化して、多機能トイレを新設。車いす使用者やベビーカーを使用した乳幼児連れに配慮して、ゆったりとしたスロープも新設され、みんなに優しいトイレに生まれ変わった。



水まわりの特長

改築の経緯

愛知県小牧市の中心市街地西側にある標高約86mの「小牧山」は、かつて織田信長の居城であった小牧山城や、小牧・長久手の戦いで織田信雄・徳川家康連合軍が本陣を構えるなど歴史の舞台であった。現在は、桜の名所としても知られ、年間通してウォーキングを楽しむ市民など多くの方に親しまれている。小牧市は「小牧山」の整備を進めており、このたび南側中腹にある桜の馬場にあった既設の屋外トイレの経年劣化などを解消するため、改築工事を実施。より多くの方にとって使いやすいトイレとなるよう、既設のトイレにはなかった多機能トイレを新設し、大便器もすべて洋式化した。建物の外観も、周囲の緑豊かな自然になじむ、落ち着いた佇まいのデザインとなっている。

トイレの特長

その名のごとく桜の名所スポットとしても知られる「小牧山 桜の馬場 屋外トイレ」の改築にあたっては、設備の一新とともに、従来あった東屋スペースを利用し、多機能トイレを新設。オストメイトや乳幼児連れの方が必要とされる機器を設置、あわせて性的マイノリティの方などにも使いやすいサインには「どなたでもご利用になれます」と記載された。また、車いす使用者やベビーカーの使用に配慮して、ゆったりとしたスロープも設けられている。男女トイレは、すべて洋式便器とし、全ブースに柵付きの手すりやウォシュレットを設置。小牧山を訪れた方が快適に安心して使えるよう、細やかな配慮をしている。

建築概要

名称	史跡小牧山 桜の馬場 屋外トイレ
所在地	愛知県小牧市堀の内1-1.7.8の一部
施主	小牧市
設計	株式会社鈴木設計事務所
施工	株式会社水野商会
竣工年月	2021年2月
敷地面積	2,890㎡
建築面積	37.5㎡
延床面積	36.25㎡
構造・階数	木造・地上1階

おもなTOTO使用機器

腰掛便器:CS232B+SH232BA
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497*系
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF552*系
ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUP系
手すり:YHB63F／柵付二連紙巻器:YH702／チャームボックス(汚物入れ):YKB104
自動洗浄小便器:UFS910JS／マーブライต์カウンター(ボウル一体タイプ):MK50
壁掛ハイバック洗面器:LSE125AA／立水栓:TLC11AR／化粧鏡:YMK51K
コンパクトオストメイトパック:UAS81LSB2NW／ベビーシート:YKA25系
ベビーチェア:YKA15系／フィッティングボード:YKA41系
幼児用手すり:YYB10／パブリック用手すり:T113BU系、T112CL11、T112HK7R



男性トイレ
大便器ブース

ウォシュレットのリモコンは、押す力で発電し、電源不要のエコリモコンを採用。防犯対策として、ブースの壁を天井近くまで立ち上げ、安心して利用できる配慮がされている。



女性トイレ
洗面・大便器ブース

清掃性の高いボウル一体タイプの洗面カウンターを採用。男女トイレとも、すべての大便器ブースに、柵と手すりが一体になった紙巻器を採用し、高齢者や妊婦など多様な利用者が安心して使える配慮がなされている。



多機能トイレ サイン

多機能トイレの男女マークとベビーマークは、小牧市オリジナルの親しみのあるデザイン。「どなたでもご利用になれます」のメッセージで、性的マイノリティの方など幅広い方に配慮している。



多機能トイレ

オストメイトへの配慮としてコンパクトオストメイトバックを設置。洗面器には電気温水器が備えられ、冬でも快適に手洗いができる。さらに、詰まりが発生した時の対策として、掃除口付の大便器を採用した。



多機能トイレ

多機能トイレには、乳幼児連れ配慮として、ベビーシート・フィッティングボード・ベビーチェアを設置。また、お子様が勝手に鍵を開けて出てしまわないよう、幼児の手が届かない高さにも鍵を設けている。



改修前

建替え前は、建物や設備器具の経年劣化などが見られた。それらの問題を解消し、さらに、多機能トイレを設けるために隣にあった東屋も解体。面積を拡大してトイレを改築した。